

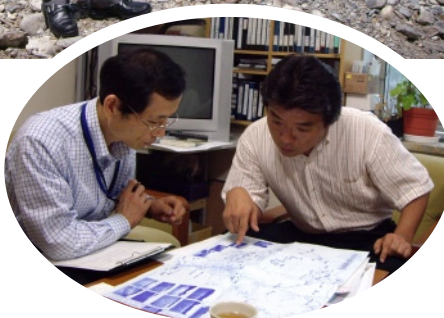
宮崎・大分  
台風5号被害

# 激甚災害指定に

## 日本共産党・仁比聡平議員に政府が報告



写真上、9月3日延岡市の農地の被災状況を調査する田村氏(中央)ら



写真右、9月11日政府に要請する仁比議員

9月11日の政府への要請では、延岡市北浦地区での河川からの流木による養殖施設被害や宮崎・鹿児島両県を中心とした早期水稲の農作物被害についても取り上げました。以下、主なやりとりの要旨です。

8月2日から4日に大きな被害を及ぼした台風5号被害について、政府は激甚災害指定(本激)にすることを決めました。

日本共産党の仁比聡平参院議員は、田村貴昭党九州・沖縄国政対策委員長らと行った被災地調査にもとづき、9月11日、宮崎県延岡市内の河川の氾らんで流入した土砂に埋もれた農地などの被害を写真や地図などで説明し、同指定を求めています。

同指定により、被災地での河川や道路のほか、生産者が所有する農地・農業施設の災害復旧事業に対する国の補助率がかさ上げされます。

### 延岡・養殖施設被害

#### 流木被害の養殖業者へ支援を(仁比)

#### 個人の所有物への支援は一般的にない(水産庁)

なるのが、みんな死んで、養殖が続けられない。支援策と現地調査を。

なさん借りている。償還期限や据え置き期間延長など、金融支援を。



●水産庁 個人の所有物に災害復旧事業で支援がおこなわれることは一般的にはない。漁業被害の激甚災害指定基準にも被害額(数億円)が満たしていない。現場に行くことは今は考えていない。

●水産庁 制度上この期間(償還期限)を超えるとというのはできない。県が近代化資金など利子補給して実質金利を下げるというケースはある。

◎仁比聡平参院議員(以下、仁比) 台風による流木が生簀をこわし、壊滅的被害だ。養殖は施設や稚魚など運転資金が大きい。カンパチは3年育ててお金に

◎仁比 漁業激甚の要件は厳しすぎる。見直しとそのため被害調査を求める。

◎仁比 島の浦や北浦での融資制度の対応状況の調査を。

●水産庁 調べる。(後日、金融相談はないとの報告)

### 早期水稲被害救済

#### 生産者の再生産を保障する支援を(仁比)

#### 県、共済連、農協で協議をはじめた(農水省)

◎仁比 今回の早期水稲については、規格外米になることを想定できず、多くの生産者は被害申告をせず、稲を刈った。農協には仮渡し金という仕組みがあるが、規格外米は一番下だと30キロ1500円という。

がでるということで、何らかの救済はできないか。

●農水省 被害申告をださないと、保険(共済)などで適用できないが、申告した人へは、品質低下の特例措置を考えている。

◎仁比 保険外の支援は。

●農水省 共済連も農協も県も市町村も集まって、

◎仁比 国として現場のニーズをつかんで支援を検討すべきだ。

申告者への早期救済と、未申告者が申告したと仮定してこれぐらいの被害額

◎仁比 国として現場のニーズをつかんで支援を検討すべきだ。

◎仁比 国として現場のニーズをつかんで支援を検討すべきだ。